

元気おおとよは、
大豊町を元気にする民間の団体です！

2021 夏号

元気おおとよ新聞

令和3年7月1日発行No.34

特定非営利活動法人

元気おおとよ

<http://www.genki-otoyo.org>

お問い合わせ 080-8635-2253

シリーズ 集落活動センター vol.2

集落活動センター あなない

～大豊町内に5カ所ある、集落活動センターの取り組みをシリーズで紹介していきます～

2021年4月25日（日）のオープンから、2か月が経ちました

毎週日曜日の8:30～13:00に開店している、「集落活動センターあなない」について、「少しは慣れてきましたか？」との問いに、「まだまだ、あまり慣れすぎていまいかんし」と語ってくれた、穴内地区活性化推進委員会会長の松岡幸博さん。それでも、「最近では商品の8～9割は売り切れて、固定客もついてきた」と、安堵の様子もうかがえました。

3年ほど前から、国道32号線沿いの町有地が空いているということで、その利活用を検討し始めたことが発端でした。すぐそばにガソリンスタンドもあるし、皆が集まれる場所を作りたいという気持ちから、初めは「川の駅(道の駅)」というイメージだったのですが、ちょうど集落活動センターの話が持ち上がり、旧穴内小学校の校区7集落（穴内1区-1、1区-2、2区、3区、磯谷、尾生、敷岩）での活動センターということになりました。



「あなない出愛のひろば」

穴内川と吉野川の合流点であり、出会いの場となってほしいとの意味合いをこめて、「あなない出愛のひろば」と名付けられました。

吉野川ではラフティング、穴内川では川遊びや鮎釣りなどが出来ます。アスファルト敷きの広いスペースは、時には駐車場に、時にはイベント会場、そして時には町民の憩いの場に。お天気の日には、テーブルと椅子を出して、コーヒーや猪肉コロッケなど、その場で出来たてを食べながら、おしゃべりタイムもいいですね。



すぐそばに架かる旧吉野川橋は、原位置に現存する道路トラス橋としては日本最古の橋で、1911年(明治44年)鉄材をイギリスから輸入して建設されました。通行することはできませんが、レンガ積みの橋ゲタがレトロな雰囲気をかもし出し、インスタ映えすること間違いなし！松岡さんは、この橋を目玉にしようと、すでにいろいろ考えていらっしゃるようでした。

いずれは観光客にも立ち寄ってもらいたいと、観光情報の発信やお土産になるような加工品等の販売も構想にはあるようで、穏やかに熱く語ってくださいました。



しかし他のメンバーの皆さんも同様に、普段のお仕事の傍ら空いた時間での活動ですので、なかなか思うようには進まないのが現状です。だから、「焦らず、無理せず、少しずつ、口コミで広がっていくぐらいが丁度いい」と。

今はまだ、開店日や開店時間が少ないですが、大豊町全体で応援・協力して盛り上げていきたいですね。(野田由美子)



告知 今年のそば物語予定

種蒔き編	8月15日(日)	あくまで予定です！
収穫編	11月14日(日)	状況により変更や中止になる場
脱穀編	12月5日(日)	合があります。
そば打ち編	2月6日(日)	日程詳細などは、町内放送やSNSなどでお知らせいたします。



高橋医院・大田口医院 (その3・DVD進呈付き)



13日(水) 立川無医地区診療
19日(火) 久寿軒無医地区診療
26日(火) 西峰無医地区診療

一向に終息の様相を見せないコロナ禍の中、みなさんいかがお過ごしでしょうか。このような時にはよけいにかかりつけのお医者さんが地元におい出るありがたさを思います。先日、遠隔地にお住いの高齢の方の立ち話を耳にしました。
「今日はお昼から高橋先生にワクチンの注射をしてもらおう。遠くへ行くことを思うたらなんぼしありがたい。栄養剤を飲んで早よういなにゃあ」
話からは感謝に加え安心感も伝わって来ました。



予定を変更して号外を出させていただきます。今から約7年前の平成26年5月、BSテレビで「赤ひげのいるまち」が放送されました。全国で地道に活動が続けている「赤ひげ」先生の特集で、その中に高橋雄彦先生の紹介がありました。
竹下景子さんのナレーターによる8分ほどの番組。今回はその中から数場面をカメラ撮りしてお届けします。※文章はナレーションによるものです。

なお、このDVDをご希望の方は
(090-4508-4791) までご連絡ください。(鄙)

番組の内容の数場面をお届けします！

父の仕事を受け継いだからには、



命かけて地域医療をやってきたんで

死ぬまで白衣を着て
命かけて
地域医療を
やってきた



父 高橋康彦医師
平成13年に故人となった

昭和42年に父、
高橋康彦医師が
開業

たとえ患者さんが
一人になっても、
患者さんがいる限り
続けていきたい。



それを受け継いだからには
たとえ患者さんが一人になっても



魅力は田舎

ということで、
山や川の恵みがあり、
住むにはいいところ
だと思います。



この町は田舎ですね
魅力っていうのは田舎で

患者さんは皆優しい。

ちょっと具合が悪いと
「先生、風引いたんじゃない」
とか親身になって心配してくれます。



そういうのは
都会の病院では味わえない
いい面じゃないかと思っています。



親父を見ていて僕が今 やっている事は
すべて(親父が)やっていた事なんで



父 高橋康彦医師の顕徳碑
長年地域医療に尽くした功績を称え 有志が建立

地域医療に尽くした父の思いを明日
へつなぐ架け橋。赤ひげの心は山の
暮らしにずっと寄り添っていく。

会員・応援サポーター募集中！

「NPO法人元気おおとよ」は、大豊町を元気にすることを目的に、集落維持、文化の継承、地域交流、移住促進などの地域活性化活動に取り組んでいます。

イベント等一部の活動にのみ参加する一般会員や、直接活動に参加できないが寄付というかたちで活動を支援する賛助会員などを、募集しています。大豊町に想いのある方、是非ご協力をお願いします！

詳しくは、野田 (080-8635-2253) までお問い合わせください。